

(2) 職員の環境教育

職員一人ひとりの環境意識を高め、効果的なISO14001の運用を図るため全職員を対象にした環境研修に取り組んでいます。

ア 組織内での研修

ISO14001を運用し、継続的に環境負荷低減を図っていくため、下表の研修計画に基づき、本庁及び各県民局で研修を実施しました。

研修の種類	対象者	研修目的
新規異動職員研修	新規採用者、新たに適用対象組織の職員となった者 全員	環境マネジメントシステム全般の知識や環境方針、目的・目標、環境管理プログラムについて理解させ、個々の職員に自覚させる。
一般職員研修	環境管理者、総括環境推進員、環境推進員を除く一般職員（業務補助職員、団体職員等を含む）	環境マネジメントシステム全般の知識や環境方針、目的・目標、環境管理プログラムについて理解させ、個々の職員の自覚を高める。
総括環境推進員及び環境推進員研修	総括環境推進員及び環境推進員	環境マネジメントシステムの運用に関する理解を深め、各部局等の責任者としての自覚を高める。
特定業務職員研修	著しい環境影響の原因となりうる活動・サービスに従事する職員	著しい環境影響の原因となりうる活動・サービス（オフィス活動を除く）に従事する職員に専門的知識及び技能を習得させる。
環境管理者研修	環境管理者	環境マネジメントシステムの重要性を理解させ、環境管理者としての責任を自覚させる。



職員の研修の1コマ

イ 外部研修機関による研修

ISO14001を運用するための主担当となる職員は、外部研修機関の研修を受講して技術・能力の向上を図っています。

総括環境推進員と環境推進員は、内部環境監査員の資格取得研修を、また、事務局担当職員は、システム構築研修を受講しています。

研修の種類	対象者	受講人数
内部環境監査員研修	新任総括環境推進員及び新任環境推進員	111名
環境マネジメントシステム構築研修	事務局担当者	3名

なお、平成14年度には新たに111名の職員が内部環境監査員資格を取得し、平成11年度からの累積有資格者は、444人になりました。

毎年、秋には資格取得者で環境監査チームが編成され、内部環境監査が実施されます。

